

松原小 創立の物語



馬室小のプレハブ校舎



鴻巣南小のプレハブ校舎

松原小学校は、馬室小および鴻巣南小の児童増加に伴い、昭和51年（1976年）4月1日に創立しました。

ただ、4月1日開校とは名のみで、校舎は未完成。当初の10ヶ月は母体校の馬室小と鴻巣南小にて授業を行い、始業式・入学式も共に別々という他に例のない開校でした。また、馬室小では北校舎を使用（プレハブは校長室と職員室）でしたが、鴻巣南小ではプレハブ校舎での学校生活となりました。

10月初旬には第1回運動会が旧馬室中の校庭にて行われました。草刈り・整地・用具運搬など、多くの方々の協力のもと、2校に分かれている児童が初めて一同に会して楽しく活動することができました。

翌年の昭和52年1月31日に新校舎（今の南校舎）が竣工。校庭が校舎の北側にある市内でも初めての学校でした。そして2月12日に新校舎に移転。2月14日に授業が開始されたことから、この「2月14日」が開校記念日となっています。

また、3月25日には第1回卒業証書授与式が行われ、男子26名、女子28名の計54名が松原小を巣立っていきました。

※卒業生は令和6年度末までで4,681名を数えています。



旧馬室中で行われた運動会



新設された新校舎（南校舎）

【第1期新校舎（南）】

- ・3階建18教室
- ・2167㎡
- ・普通教室14
- ・職員室（含む保健室）
- ・音楽室
- ・理科室兼家庭科室